



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋

上場取引所 東

コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 経理・システム部門担当取締役 (氏名) 寺岡 成晃

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	17,393	44.7	3,041		3,014		4,159	
2020年3月期第3四半期	31,447	0.2	745	7.6	814	1.8	552	25.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,118百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 584百万円 (69.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	184.28	
2020年3月期第3四半期	24.48	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	40,170	9,884	23.3	413.65
2020年3月期	36,631	14,094	36.9	598.94

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,337百万円 2020年3月期 13,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,516	39.7	4,003		3,988		5,103		226.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	22,610,359 株	2020年3月期	22,610,359 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	36,104 株	2020年3月期	36,124 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	22,574,241 株	2020年3月期3Q	22,574,235 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、4月に政府より緊急事態宣言が発出され経済活動の停滞により消費活動が著しく減少しましたが、緊急事態宣言解除後において経済活動は徐々に回復していたものの、新型コロナウイルス新規感染者数が再び増加し第2波のピークを越える第3波が生じており、先行きは依然不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループにおきましても新型コロナウイルス感染症拡大により、4月の緊急事態宣言下での店舗休業や時間短縮、および海外との渡航制限の影響により現在も一部店舗の休業継続や航空会社の減便による機内食需要の減少等により、過去と比較できない大きな影響を受け、売上高は前年同期に対して大幅な減収となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高173億93百万円（前年同期比140億54百万円減）、営業損失30億41百万円（前年同期は営業利益7億45百万円）、経常損失30億14百万円（前年同期は経常利益8億14百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失41億59百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益5億52百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(レストラン事業)

レストラン事業においては、新型コロナウイルス感染症予防対策として店舗衛生管理及び従業員の体調管理の徹底、アルコール消毒液の設置、ソーシャルディスタンス確保等を推進し、お客様と従業員の安全を第一に営業を行うとともに、非接触決済端末の導入や、お客様のニーズにあわせたテイクアウトメニューの充実やデリバリーサービス対応店舗を拡大し、政府主導の「Go To トラベル」や「Go To Eat」へ積極的に参画する等、売上増加への取り組みを行いました。

また、4月に茨城県を中心にラーメン店及び中華料理等を展開する㈱雪村及び㈱ゆきむら亭エフシー本部（以下、あわせて「雪村」）の株式を100%取得しグループ会社としたことで、茨城県北部を中心にラーメン店等を展開する㈱老番亭本部とともに関東東部地域におけるラーメン店経営の地盤を強化いたしました。7月には当社グループの組織再編の一環として、業務の効率化及び人材・経営資源の集約化を図りグループ全体の組織力強化並びに顧客サービスの向上を図るため、連結子会社であった㈱銀座田中屋を吸収合併致しました。

その結果、新店は37店舗（そば部門の「おらが蕎麦」1店舗、「そじ坊」1店舗、焼肉業態の「炎座」1店舗、及び「雪村」の直営店舗18店舗とフランチャイズ店舗16店舗）であり、改装は13店舗実施し、そのうち5店舗は業態変更を行いました。また、退店は43店舗であり、12店舗は直営からフランチャイズ店舗へ移管致しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、38都道府県に412店舗（フランチャイズ店舗94店舗を含む）となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は108億50百万円（前年同期比47.6%減）、セグメント損失23億81百万円（前年同期は6億65百万円の利益）となりました。

(機内食事業)

㈱エイエイエスケータリングにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う渡航制限により航空会社の著しい減便が続いており、大幅な減収減益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は6億64百万円（前年同期比86.1%減）、セグメント損失4億69百万円（前年同期は1億92百万円の利益）となりました。

(業務用冷凍食品製造事業)

㈱アサヒウェルネスフーズにおいては、季節品のおせちの製造が増加したこと及び新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛等による巣ごもり需要の高まりにより冷凍弁当の製造が増加したことから増収増益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は35億60百万円（前年同期比23.6%増）、セグメント利益2億60百万円（前年同期は1億78百万円の利益）となりました。

(不動産賃貸事業)

大阪木津市場㈱においては、地方卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みではあるものの、新型コロナウイルス感染症に伴う賃借料の減額及びコストの増加等により減収減益となりました。

以上の結果、不動産賃貸事業の売上高は5億13百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント利益1億86百万円（前年同期は2億40百万円の利益）となりました。

(運輸事業)

水間鉄道㈱においては、新型コロナウイルス感染症の影響による利用客の減少により減収減益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は2億78百万円（前年同期比20.1%減）、セグメント損失57百万円（前年同期は14百万円の利益）となりました。

(その他)

大阪木津市場(株)で展開しております水産物卸売事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により魚介の卸売数量が減少したことから減収減益となりました。日本食糧卸(株)で展開しております米穀卸売事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により販売数量が減少したことにより減収減益となりました。

以上の結果、その他の売上高は15億25百万円(前年同期比31.6%減)、セグメント損失75百万円(前年同期は29百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は136億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億88百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金2億98百万円及び売掛金20億27百万円の増加によるものであります。固定資産は264億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億49百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物4億49百万円及びのれん3億22百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産は、401億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億38百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は147億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ73億31百万円増加いたしました。これは主に短期借入金69億円及び買掛金5億58百万円の増加によるものであります。固定負債は155億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億16百万円増加いたしました。これは主に長期借入金3億94百万円及び長期未払金2億円の増加によるものであります。

この結果、負債合計は、302億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ77億48百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は98億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億10百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失41億59百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は23.3%(前連結会計年度末は36.9%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年11月12日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,414,584	8,713,133
預け金	440,367	485,469
売掛金	1,037,479	3,064,970
商品及び製品	369,922	343,511
原材料及び貯蔵品	296,451	307,715
短期貸付金	653	2,644
その他	446,757	778,655
貸倒引当金	△1,562	△2,981
流動資産合計	11,004,653	13,693,117
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,886,956	28,027,676
減価償却累計額	△19,259,442	△19,950,905
建物及び構築物(純額)	7,627,513	8,076,771
機械装置及び運搬具	2,885,412	2,988,156
減価償却累計額	△1,962,678	△2,125,392
機械装置及び運搬具(純額)	922,734	862,764
工具、器具及び備品	1,918,801	2,008,596
減価償却累計額	△1,348,379	△1,489,021
工具、器具及び備品(純額)	570,421	519,574
土地	8,356,356	8,450,655
建設仮勘定	475,570	68,823
有形固定資産合計	17,952,596	17,978,588
無形固定資産		
のれん	87,791	409,975
その他	113,823	96,738
無形固定資産合計	201,614	506,714
投資その他の資産		
投資有価証券	1,730,022	1,747,951
長期貸付金	53,527	54,643
差入保証金	5,525,638	5,398,279
繰延税金資産	41,382	132,969
その他	140,661	676,344
貸倒引当金	△18,525	△18,595
投資その他の資産合計	7,472,706	7,991,593
固定資産合計	25,626,917	26,476,896
資産合計	36,631,570	40,170,014

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	747,331	1,306,311
短期借入金	270,000	7,170,000
1年内償還予定の社債	430,000	360,000
1年内返済予定の長期借入金	3,248,373	3,620,491
リース債務	23,311	9,906
未払金	292,099	393,386
未払費用	1,491,081	1,159,385
未払法人税等	160,036	28,217
未払消費税等	202,573	78,682
賞与引当金	144,282	79,398
資産除去債務	164,873	203,697
その他	257,517	353,848
流動負債合計	7,431,480	14,763,325
固定負債		
社債	300,000	155,000
長期借入金	11,309,964	11,704,099
リース債務	14,399	7,199
長期未払金	136,009	336,009
繰延税金負債	1,426,820	1,439,593
資産除去債務	964,295	914,885
転貸損失引当金	9,750	7,500
退職給付に係る負債	140,232	122,775
その他	804,336	835,427
固定負債合計	15,105,807	15,522,489
負債合計	22,537,287	30,285,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	5,838,236
資本剰余金	6,849,051	6,790,261
利益剰余金	658,746	△3,501,141
自己株式	△35,361	△35,341
株主資本合計	13,310,672	9,092,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	268,878	296,464
為替換算調整勘定	△55,091	△48,162
退職給付に係る調整累計額	△3,797	△2,504
その他の包括利益累計額合計	209,989	245,796
非支配株主持分	573,620	546,387
純資産合計	14,094,282	9,884,199
負債純資産合計	36,631,570	40,170,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	31,447,765	17,393,627
売上原価	19,505,731	11,975,471
売上総利益	11,942,034	5,418,156
販売費及び一般管理費	11,196,522	8,459,722
営業利益又は営業損失(△)	745,512	△3,041,565
営業外収益		
受取利息	2,483	3,112
受取配当金	47,376	30,986
賃貸料収入	48,544	111,720
その他	65,078	80,580
営業外収益合計	163,482	226,400
営業外費用		
支払利息	57,762	94,530
借入手数料	1,800	1,800
賃貸費用	30,431	62,196
持分法による投資損失	—	38,240
その他	4,145	2,460
営業外費用合計	94,140	199,227
経常利益又は経常損失(△)	814,854	△3,014,392
特別利益		
固定資産売却益	6	6,430
投資有価証券売却益	52,958	—
受取補償金	34,841	—
受取保険金	13,488	7,555
助成金収入	—	695,979
その他	213	13,969
特別利益合計	101,507	723,934
特別損失		
固定資産除却損	51,052	35,601
固定資産売却損	984	—
減損損失	52,141	81,918
新型コロナウイルス感染症による損失	—	1,490,531
その他	—	168,525
特別損失合計	104,178	1,776,577
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	812,184	△4,067,035
法人税、住民税及び事業税	225,475	90,660
法人税等合計	225,475	90,660
四半期純利益又は四半期純損失(△)	586,708	△4,157,696
非支配株主に帰属する四半期純利益	34,122	2,191
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	552,585	△4,159,888

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	586,708	△4,157,696
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,243	27,585
為替換算調整勘定	△16,224	10,930
退職給付に係る調整額	3,569	1,301
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△285
その他の包括利益合計	△2,411	39,531
四半期包括利益	584,296	△4,118,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	555,403	△4,124,078
非支配株主に係る四半期包括利益	28,893	5,914

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症について、2021年1月7日の緊急事態宣言再発出を受け、レストラン事業では店舗の営業時間の短縮要請に応じた対応を実施しており、5月の緊急事態宣言解除後より緩やかに回復しておりました売上高についても再度の減少が直近では見込まれますが、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定に重要な変更は行っておりません。機内食事業におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定に重要な変更は行っておりません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	20,691,574	4,770,490	2,880,832	526,859	349,066	29,218,823	2,228,942	31,447,765	—	31,447,765
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,265	13,686	19,103	—	65,773	146,828	771,972	918,801	△918,801	—
計	20,739,839	4,784,176	2,899,936	526,859	414,839	29,365,651	3,000,915	32,366,566	△918,801	31,447,765
セグメント利益	665,436	192,962	178,497	240,508	14,046	1,291,451	△29,836	1,261,615	△516,102	745,512

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業、米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△516,102千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高										
外部顧客に対する 売上高	10,850,611	664,481	3,560,938	513,647	278,896	15,868,574	1,525,053	17,393,627	—	17,393,627
セグメント間の内部 売上高又は振替高	100,971	3,458	28,689	—	19,679	152,799	436,216	589,016	△589,016	—
計	10,951,583	667,939	3,589,628	513,647	298,576	16,021,374	1,961,269	17,982,644	△589,016	17,393,627
セグメント利益又は 損失(△)	△2,381,305	△469,769	260,699	186,967	△57,820	△2,461,227	△75,088	△2,536,315	△505,249	△3,041,565

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業、米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△505,249千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。